

自己評価報告書

平成23年 5月15日現在

機関番号：15301

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20730066

研究課題名（和文）高齢化社会における遺言作成プロセスのあるべき姿について

研究課題名（英文）Protection of aged people's will in testament making process

研究代表者

中川 忠晃（NAKAGAWA TADAAKI）

岡山大学・大学院社会文化科学研究科・准教授

研究者番号：10315038

研究分野：民法

科研費の分科・細目：民事法学

キーワード：高齢者、遺言、作成プロセス

1. 研究計画の概要

本研究は、いかにして家族による高齢者の財産を狙った（身体的虐待を伴うこともある）心理的・経済的虐待から高齢者を保護し、死後の財産分配についての「高齢者である遺言者の完全に自由なる遺言意思」を実現するかという、高齢化社会における遺言作成プロセスのあるべき姿について考察を加え、1つの試論を構築することを目的とするものである。

2. 研究の進捗状況

これまで、公正証書遺言の作成プロセスについて研究を行った。公正証書遺言の方式の基本は民法969条によって定められ、同条2号において「遺言者が遺言の趣旨を公証人に口授すること」が求められている。同条はフランス民法972条に由来する規定であり、フランスにおいては「口授」は遺言者の言葉を正確に筆記することとされている。ところが、日本法においては「口授」はいかなるものであるかについては詳細に分析検討されてきたとは言い難い状況にあり、かつ、起草者もそこまでの厳格性を求めていなかったこともあ

ってか、実際の遺言実務においてはこの要件は（意図的に？）かなり緩和されている。そのため、遺言の趣旨を公証人に口頭で伝えることはおろか自分の名前や住所すら満足に言えない状態にある者を前にして、他者（多くは遺贈を受ける予定の者が依頼した弁護士）が作成した（と思われる）文面を公証人が読み上げ、それから公証人が「遺言者」に問いかけるとかろうじて頷いたので「口授」があったとして公正証書遺言が作成されたというケースも存在する（最近のものとしては宇都宮地判平成22. 3. 1金法1904号136頁がある）。法律専門家である公証人が関与するので形式や内容の不備で無効になるおそれがないとよく説明される公正証書遺言に対して裁判実務や社会が与える信頼は大きい。しかしここで忘れてはならないのは、公正証書遺言に対する社会の信頼は、法律専門家である公証人が法に定める方式に則って厳格かつ厳密に作成しているというプロセスに立脚しているということである。公正証書遺言という方式の存在意義は、形式や内容の不備で無効になるリスクを有しながらも安価かつ簡便に作成できる自筆証書遺言との対比におい

て見いだされる。公正証書遺言に簡便性は必要であろうか。今一度原点に立ち返って検討を試みる必要がある。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

日本法における遺言作成実務及び遺産の分与に関する研究成果は順調に公表しており、また、海外の制度研究についても、未だ公表には至ってはいないがデータは順調に収集できており、今年度中にまとめて公表することが期待できるため。

4. 今後の研究の推進方策

今後は、フランス遺言実務における公証人の使命と役割について研究する。フランス相続法については、幸いなことにこれまでの研究によってある程度のデータの蓄積があり、また、公証実務についての概説書も、決して多くないにしてもそれなりに存在し、かつ、国内でも入手可能なので、平成22年度までのような大がかりなことは必要ないと思われる。しかし、そのような文献にも記載されていない公証実務上の様々な工夫や彼らが当たり前だと考えていることなどは存在するであろう。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

- ①中川忠晃、重婚解消後の重婚取消の可否、判例プラクティス民法III親族・相続、4頁～4頁、2010年、査読無
- ②中川忠晃、臨終婚の可否(1)(2)、判例プラクティス民法III親族・相続、17頁～18頁、2010年、査読無
- ③中川忠晃、生活扶助を受けるための離婚の

有効性、判例プラクティス民法III親族・相続、18頁～18頁、2010年、査読無

④中川忠晃、成年後見人を特別縁故者とする相続財産の分与と成年後見人の職務、判例タイムズ、1305号、75頁～79頁、2009年、査読無

⑤中川忠晃、遺言執行者の解任、判例タイムズ、1291号、78頁～81頁、2009年、査読無

[学会発表] (計0件)

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]